

別紙

I. 事業評価総括表（令和元年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間 接交付金事業者名	交付金事業に要し た経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設 に係る整備、維持補 修又は維持 運営等措置	グリーンパレスゴーカート整備 事業	湯前町	4,400,000	4,400,000	総事業費 4,519,800

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和元年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	グリーンパレスゴーカート整備事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		湯前町	
交付金事業実施場所		湯前町 潮山 地内	
交付金事業の概要	<p>現在ゆのまえグリーンパレス（カントリーパーク）内にあるゴーカート場にはゴーカートが5台あるが、平成12年に購入したものであり、耐用年数も経過している。故障等も多く見受けられるようになり、修理等に多くの経費がかかっている。また、故障に伴い安全性の確保に支障を来す恐れが出てきている。ゴールデンウィーク等の大型連休には多くの来客があり、先述の故障等の影響により利用者待たせるなど支障をきたしている。先述の懸念事項の解消のために、電源立地地域対策交付金を活用し、ゆのまえグリーンパレスにゴーカート5台の整備を行う。</p> <p><購入物品> ゴーカート二人乗り 5台</p>		
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>第5次湯前町総合計画 基本計画（後期） （平成28年度～平成32年度） 第1章 匠の技と思いが拓く産業づくり 第5節 観光の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集客力のある観光施設や観光資源をイベント開催により認知度を高めながら、都市からの交流人口増加を図るとともに、周遊ルートの整備や受入体制の確立及び各組織間の連携を深めることにより、おもてなし力の向上につなげます。 		
事業開始年度	令和元年度	事業終了（予定）年度	令和元年度
事業期間の設定理由			

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和2年度
	ゴーカート年間利用者数 20%増	ゴーカート年間利用者数	成果実績	人		
			目標値	人	120	
			達成度	%	0.0%	
	評価年度の設定理由					
	事業の完了が令和元年度中を予定しており、整備予定であるゴーカートの年間利用者数調査を令和2年度に予定している					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和元年度	
	湯前グリーンパレスに整備したゴーカートの台数		活動実績	台	5	
			活動見込	台	5	
			達成度	%	100.0%	#DIV/0!
交付金事業の総事業費等	令和元年度				備考	
総事業費	4,519,800					
交付金充当額	4,400,000					
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	4,400,000					
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
グリーンパレスの利用客増のため		指名競争入札		ミゼッティ工業株式会社		4,519,800
交付金事業の担当課室	企画観光課					
交付金事業の評価課室	企画観光課					

-
- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
- (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
- (4) 交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている当該都道府県又は市町村の上位政策・施策とその目標を記載すること。
- (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
- (6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性的な成果及び評価を記載すること。
- (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。
なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。
- (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。
- (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
- (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。
- (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
- (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
- (13) 交付金事業の担当課室の欄は事業を実施した課室を、交付金事業の評価課室の欄は事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。